

「化学物質と環境に関する学習関連資料データベース」の開設について (お知らせ)

平成 15 年 6 月 19 日 (木)
環境省 環境保健部 環境安全課
課長 : 安達 一彦 (内線 6350)
課長補佐 : 荒木 真一 (内線 6353)
担当 : 相澤 寛史 (内線 6358)

環境省では、化学物質と環境に関する学習関連資料を提供し、リスクコミュニケーションの推進を図るため、ホームページ上に「化学物質と環境に関する学習関連資料データベース」を開設いたしました。

このデータベースは、対象とする学年、学習関連資料の形態及びフリーワードで簡単に検索することができます。

1. 目的

化学物質やそれらを含む製品は私たちの日常生活に非常に身近なものですが、化学物質による環境リスク（人の健康や生態系に影響を及ぼすおそれ）は多くの人々にとって極めて難解です。しかしながら、これらを理解するための化学物質と環境に関する教材などの学習関連資料は十分とはいええず、また、既存の学習関連資料も広く知れ渡っておりません。

このため、化学物質と環境に関する学習関連資料の情報を広く紹介し、これら資料を活用したリスクコミュニケーションが一層推進されるよう、環境関連資料のデータベースを作成いたしました。この学習関連資料は、本年2月5日（水）～3月14日（金）に募集を行い、収集・整理したものです。

2. データベースの概要

本データベースは、対象とする学年、学習関連資料の形態、フリーワードで簡単に検索することができます。検索結果として、「表題」の他に、その資料の「ねらい」、「概要」、「対象者」、「形態」、「制作年」、「入手方法」、「製作者」が表示されます（学習プログラムは多少異なります）。現在、このデータベースには 44 件の学習関連資料が収録されています（応募総数 77 件）。

対象とする学年は、小学生（低学年・中学年・高学年）、中学生又は高校生です。また、掲載されている学習関連資料の形態は、冊子・印刷物、ビデオ、CD-ROM、DVD-ROM、オンライン Web、もの教材、学習プログラムといった学習に関連する幅広いものとなっています。

データベースは、下記のホームページにてご覧頂けます。

化学物質と環境に関する学習関連資料データベース

なお、掲載された学習関連資料は、一般公募により収集し、原則としてご応募いただいたもののうち下記の基準に該当するものを全て掲載しております。このため、環境省が学習関連資料としてこれらの使用を推奨しているものではありません。

また、資料の内容が科学的事実と異なる場合や不適切な表現がなされている場合もありますので、活用に際しましてはご利用いただく場面に応じて各自でご判断くださいますようお願いいたします。

- 学習関連資料の内容が「化学物質と環境」、「環境リスク」又は「化学物質と暮らし」のいずれかに関連していること
 - 学習対象者が小中学生又は高校生であること（小中高校生の指導者用を含む）
 - だれもが入手可能であること
 - 特定の商品の販売促進を目的としたものではないこと
- ※ 化学物質への言及の量として、例えば冊子であれば化学物質に関連する章を設けて説明がされているものは、一定の関連性があるとして本データベースに掲載することといたしました。
- ※ 化学物質の範囲としてはフロンは含めることとし、温室効果ガス・医薬品等のみを取り扱ったものは含めないことといたしました。